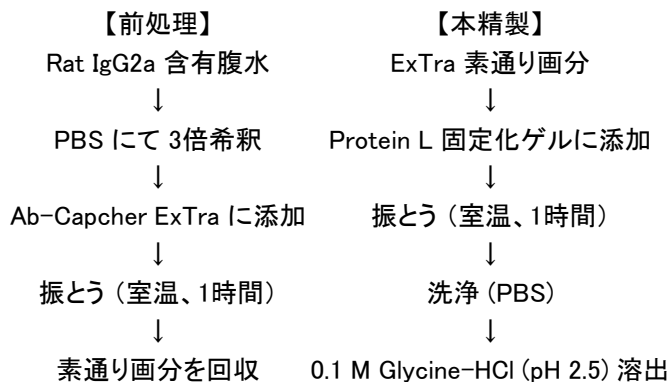


# Protein L を用いた ラットモノクローナル IgG2a の2段階精製

## 精製の流れ



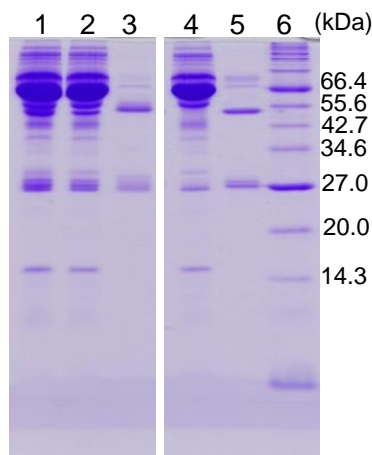
## ラットIgG2a 結合量

結合量 : 0.73 mg/mL gel  
(腹水 1mL 当り)

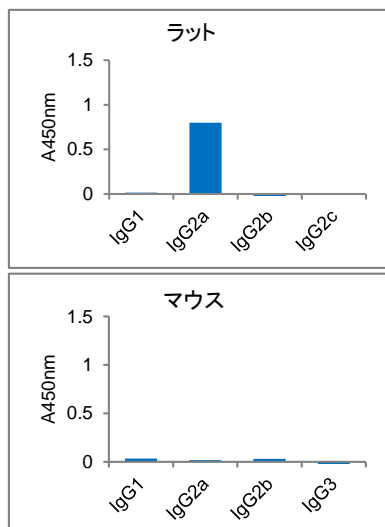
## 電気泳動結果

SDS-PAGE  
ゲル: 15 % (Tris-Glycine)  
染色: CBB

レーン 1 : 腹水  
レーン 2 : ExTta\_FT  
レーン 3 : ExTta\_Eluate  
レーン 4 : Protein L\_FT  
レーン 5 : Protein L\_Eluate  
レーン 6 : MW marker



## IgG2a 精製画分の アイソタイピング試験



ラット IgG2a 含有マウス腹水からプロテノバ Protein L 固定化ゲルを用いてラットモノクローナル IgG2a の精製を検討した。今回使用したマウス腹水には内因性のマウス IgG が多量に存在していたため、Ab-Capcher ExTra の前処理により内因性マウス IgG を除去したのちに、Protein L 固定化ゲルでラット IgG2a を精製した。なお、ラット IgG2a は Ab-Capcher に結合しないことを確認している(アプリケーションデータ No.010b)。収量を測定した結果、腹水 1 mL/mL gel 当り 0.73 mg /mL gel のラット IgG2a を精製することができた。また精製 IgG の純度を SDS-PAGE にて調べた結果、精製純度は良好であった。前処理で除去したマウス IgG についても SDS-PAGE にて確認した。精製した画分のアイソタイピング試験を実施したところ、マウス IgG は検出されず、ラット IgG2a のみが含まれていることを確認することができた。

## プロテノバ株式会社

〒769-2604  
香川県東かがわ市西村1488番地1  
TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703  
ホームページ <http://protenova.com>